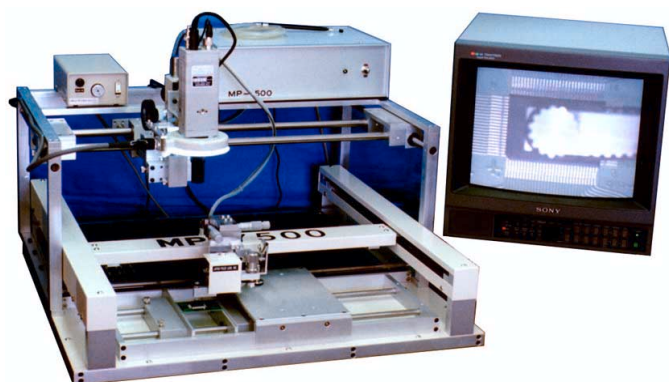
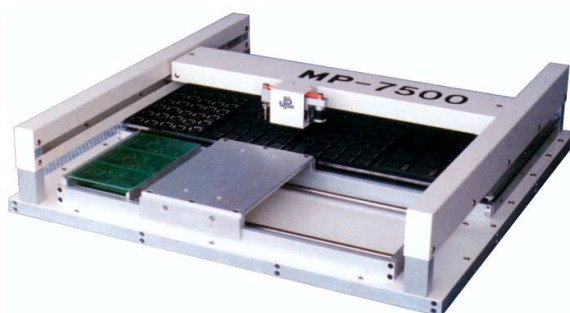




Model-3



Model-2



Model-1

手動式QFPマウンター MP-7500series

MP-7500seriesはQFPやPLCC専用の手動式マウンターです。リード・ピッチ0.3mmのファインピッチQFPからPLCCまで対応します。試作・開発から小・中規模生産まで、QFPやPLCCを基板へ容易に、そして確実に実装できます。

3機種モデルがあり、用途に応じて選択できます。

特 長

- ・QFPやPLCCの装着が簡単・確実に行えます。吸着ヘッドのノブを軽く下げるだけで、QFPやPLCCを吸着そして装着ができます。
- ・リードピッチ0.3mm～1.27mmまでのQFPやPLCCに対応します。
- ・QFPやPLCCのトレイを4種類置くことができます。
- ・吸着ノズルを交換してC、Rなどのチップ部品も1005サイズまで装着できます（但し、位置合わせは肉眼目視のみ）。又、真空吸着ピンセットを標準装備していますから、チップ部品の取り扱いも簡単にできます。
- ・名刺サイズからA4版サイズの大型基板まで対応します。（Max 360×220mm, 300×300用もあります）
- ・モデルは3機種あり、用途に応じて選べます。

Model-1：リード・ピッチ1.27mm～0.8mmのQFP，PLCCに対応。

Model-2：リード・ピッチ1.27mm～0.3mmのQFP，PLCCに対応。光学顕微鏡付。

Model-3：リード・ピッチ1.27mm～0.3mmのQFP，PLCCに対応。CCD/CRT付。

- ・SMT基板の検査装置として、更にオプションのディスペンサーやホットエアー装置をセットすると、SMTワークステーションとして使用できます。
- ・オプションの『 μ m X・Yアジャスター付きテーブル』を使用すると、10 μ mの精度で簡単に位置合わせができます。

特別仕様や改造もお受けします。

※本仕様は予告なく変更することがあります。

株式会社 日本パルス技術研究所

本社：〒372-0804 群馬県伊勢崎市稲荷町425-3 Tel:0270-23-1031 Fax:0270-23-1943
前橋事業所：〒379-2122 群馬県前橋市駒形町506-3 Tel:027-266-6381 Fax:027-267-1373

<http://www.jppl.co.jp/>
E-mail:info@jppl.co.jp

仕 様

項 目	Model-1	Model-2	Model-3
対応Q F P／P L C C	Q F P ： リード・ピッチ 0.3/0.4/0.5/0.65/0.8/1.0mm P L C C： " 1.27mm 最小11×11mm□まで		
対応基板サイズ	15×15～360×220mm t=0.5～2.0mm*1		
位置合わせ／確認	肉眼目視	光学実体顕微鏡	CCDカメラ／カラーCRT
表示倍率	－	3.5～22.5倍ズーム	5.8～17.8倍ズーム
部品装着精度	±0.15mm	±0.02mm/±0.01mm*2	±0.03mm/±0.01mm*2
装着角度	360 °（全回転）		
装着圧力	200～600g(Variable)		
基板保持	P C Bホルダー（左右サイド及びセンター）		
部品吸着ノズル	4mmφ/OD 及び 8mmφ/OD-NBR パッド（チップ部品用ノズルはオプション）*3		
Q F Pトレイ台	600×350mm（315×135mm トレイ 4 個分）		
真空ポンプ	Ejector(400mmHg) 及び Diaphragm pump(100mmHg) （エアー入力の無い場合は Diaphragm pump を使用）		
真空吸着ピンセット	1 本（付属ノズル：ID 0.34φ，0.72φ，1.10φ，3.50φ）		
照明	－	リング蛍光灯(8W) 白色光 6500°K	
電源	AC 50/60Hz， 100V/110V/120V/220V/240V 指定， 50VA		
エアー源	5kgf/cm ² （ドライエア） Ejector 使用の場合のみ必要		
形状寸法・重量	(W)640×(D)630×(H)135mm 25kg	(W)640×(D)650×(H)450mm 35kg	(W)640×(D)650×(H)500mm 35kg, CRTを除く
その他	オプション ・光学顕微鏡 ・C C D／C R T	オプション ・C C D／C R T	C R Tモニター 14型カラーC R T 水平解像度：600本

*1: 対応基板サイズ Max 305×305mmもあります。

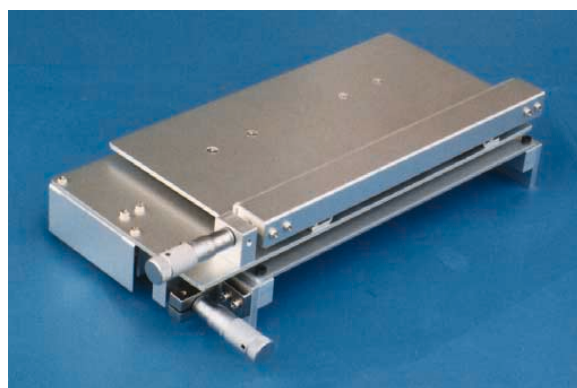
*2: μm X・Yアジャスター付きテーブルを使用。

*3: チップ部品用ノズル

GS-17(ID:1.11φ)

GS-19(ID:0.72φ)

GS-23(ID:0.34φ)



μm X・Yアジャスター付きテーブル

操 作 (Model-2/3の例)

1. クリームはんだを印刷したプリント基板をPCBホルダーにセットする。
2. 顕微鏡 (カメラ) を目的のQFPパターン全体が視野に入る位置へセットする。
3. ヘッドの操作ノブを指で軽く持ち、吸着ヘッドを目的のQFPトレイの上へ移動する。
4. 吸着パッドをQFPの中央付近に合わせてノブを軽く下げる。QFPがヘッドに吸着したらノブを上げる。
5. ノブを持ってQFPを目的のパターン上 (顕微鏡／カメラの視野) へ移動する。
6. 顕微鏡 (モニター) を覗いてQFPをパターンに粗く合わせ、ヘッドを仮固定する。
7. ノブを微調整 (XY、θ) し、QFPのリードをパターンに合わせて下げると装着完了です。